



株主メモ

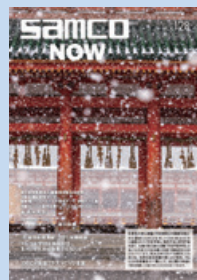
事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	7月31日
	上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当金支払株主確定日	期末配当金 7月31日 中間配当金 1月31日
単元株式数	100株
上場市場	東京証券取引所プライム市場
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ (https://www.samco.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故 その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料) ※株式関係のお手続き用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行のホームページ (https://www.tr.mufig.jp/daikou/) でも承っております。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

サムコナウのご紹介

「研究者の皆様と産業界の橋渡し」をコンセプトにした広報誌サムコナウ (samco NOW) では、最新のトピックスをはじめ、ユーザーのインタビューなど、当社の最新情報を掲載しております。当社をよりご理解いただくためにもぜひアクセスしてください。



<https://www.samco.co.jp/company/samconow/>



第46期中間期の売上高は過去最高を更新することができました。

今後も、最先端の製造装置を世界中の製造現場や研究者へ提供することで、省エネ・脱炭素社会の実現に貢献し、更なる成長を目指してまいります。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第46期中間期の報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。



左：代表取締役会長 兼 CEO
辻 理

右：代表取締役社長 兼 COO
川邊 史

第46期中間期の事業環境、経営成績

半導体等電子部品業界におきましては、スマートフォンやパソコンなどの需要は依然として弱含んだ状態が続き、産業機器用や自動車向けの回復も遅れておりますが、生成AI（人工知能）関連の高性能な演算半導体やメモリーの需要は拡大が続いております。また、供給面でもここ数年で各国が自国での半導体の生産能力を急速に高めており、市場規模の拡大が続きました。このような環境の中、当社の関わる化合物半導体及び電子部品製造装置の販売マーケットにおいては、5G（第5世代移動通信システム）の普及に加えて、6G（Beyond5G～5Gの性能をさらに進化させた次世代の移動通信システム）を中心とした情報ネットワーク基盤の実現に向けた世界最高レベルの研究開発環境の整備が進められており、研究開発向けの半導体等電子部品製造装置の需要が拡大しております。

このような状況の下、当中間会計期間における業績は、売上高が4,121百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は990百万円（前年同期比2.2%減）、経常利益は1,011百万円（前年同期比5.0%減）、中間純利益は714百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

今後の取り組み、下期の見通し

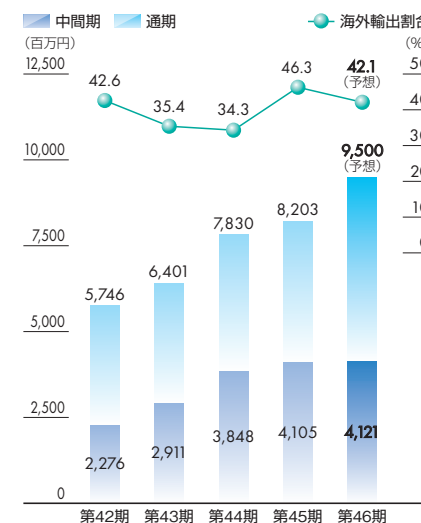
第44期よりスタートした3ヵ年の中期経営計画の最終年度であり、第46期中間期につきましては、売上高は当初計画を若干下回ったものの各利益率・利益金額は計画を上回る着地となりました。通期目標である売上高9,500百万円、当期純利益1,530百万円の達成に向け、営業活動や製品開発に全社で取り組んでまいります。2024年12月に完成した「先端技術開発棟」の本格稼働を2025年の春に予定しており、化合物半導体分野における最先端の技術開発体制を強化し、グローバルニッチ市場のリーディングカンパニーを目指してまいります。

なお、配当につきましては、通期での実施を予定しておりますので、株主の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

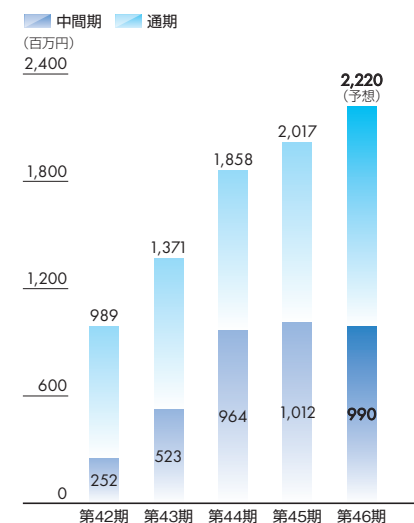
株主、取引先、従業員等のステークホルダーにとって魅力ある企業を目指し、成長力と収益力の向上を図り、適切な利益配分により企業価値の向上を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト

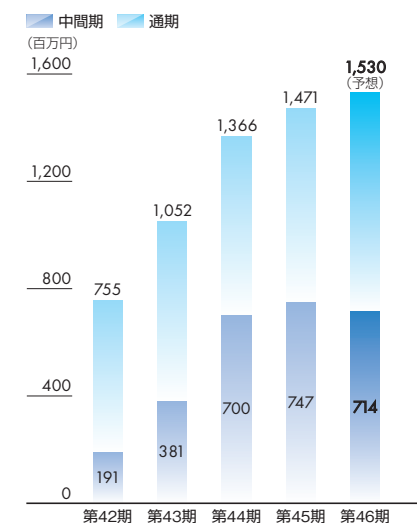
■ 売上高・海外輸出割合



■ 営業利益



■ 中間(当期)純利益



拠点開設

「先端技術開発棟」が2025年の春から稼働予定

本社（京都市伏見区）周辺に建設中の「先端技術開発棟」の建物が2024年12月17日に完成いたしました。今後、建物内の設備工事やクリーンルームへの装置搬入を進めていき、2025年の春からの本格稼働を予定しております。

生成AIや6G（Beyond 5G ～ 5Gの性能をさらに進化させた次世代の移動通信システム）などの市場の広がりに伴い生産が本格化するSiCパワーデバイス、GaNパワー/RFデバイス、GaAs VCSEL、MEMS、高周波フィルターなどの分野で高度化するニーズに応えるため、最新の生産用装置や走査電子顕微鏡（SEM）、膜厚計などの計測機器を設置し、効率的かつスピーディな研究開発を進めてまいります。

多様な従業員が活躍し、多様なアイデアから生まれる革新的な製品やサービスを通して、より良い社会の実現に貢献していきたいと考えております。



建設中の「先端技術開発棟」の様子



社会貢献

サムコ辻理寄附講座「先端材料科学講座」の第1期生に学位記が授与

2024年9月25日、国立大学法人京都工芸繊維大学にて、材料科学分野の博士後期課程の研究者を育成するサムコ辻理寄附講座「先端材料科学講座」の第1期生2名の学位記授与式が実施されました。

当講座は、日本の材料科学の発展、企業の研究者・技術者の育成およびグローバルな産業競争力の強化、特に45歳前後のベテラン社員の再教育（リスキリング）を目的としており、2022年4月に開講しました。第1期生の2名には将来の日本の先端企業の中核人材となる研究者となられるよう益々の活躍を期待しております。人材育成によって日本の産業界の科学力向上に繋がるよう、当講座による研究者の育成を続けてまいります。



京都工芸繊維大学 60周年記念館にて

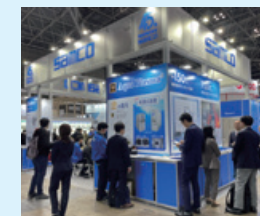


展示会

「SEMICON Japan 2024」に出展

2024年12月11日から13日までの3日間、半導体製造装置や材料、関連技術が一堂に会する展示会である「SEMICON Japan 2024」が東京ビッグサイトで開催されました。延べ来場者数は10万3千人（前年比2割増）となり、今後のデジタル化や脱炭素社会を支える次世代半導体への関心の高さが伺えました。

当社ブースでは、本格量産装置「クラスターH™」、SiCトレンチ加工やプラズマALDの最新のプロセスデータ、新たに販売を開始するALE（原子層エッチング）装置、生産性を大幅に向上した新プラズマCVD装置「PD-2201LC」、ウエハー枚葉式Aqua Plasma装置や金の還元データを紹介し、連日多くの来場者で賑わいました。



当社ブースの様子



社員一同



IR活動

個人投資家様向け会社説明会を開催

2024年10月24日、大阪府中央区の大阪産業創造館にて、丸三証券株式会社様主催の「個人投資家向け会社説明会」を開催しました。説明会では、代表取締役社長の川邊より、当社の会社概要、業績動向、ESGの取り組み、今後の見通しについてご説明いたしました。ご参加いただきました皆様にこの場を借りて感謝を申し上げます。

当社では、今後もこのような個人投資家の皆様を対象とした説明会を継続的に実施していくなど、情報発信を強化、継続してまいります。引き続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



大阪産業創造館 6階 会議室にて

会社概要・株式の状況

(2025年1月31日現在)

■ 会社概要

商 号 サムコ株式会社 (英文: SAMCO INC.)
設 立 1979年 (昭和54年) 9月
事 業 内 容 半導体等電子部品製造装置の製造、販売及び輸
出 入
資 本 金 1,663,687,288円
従 業 員 数 182名
本 社 〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町36番地
TEL (075) 621-7841 FAX (075) 621-0936
国 内 拠 点 本社 (京都)、東日本営業部 (東京)、
東海支店 (愛知)、つくば営業所 (茨城)
海 外 拠 点 米国 (カリフォルニア・ニュージャージー)、
台湾、シンガポール、中国 (上海・北京)、
マレーシア
研 究 拠 点 本社研究開発センター (京都)、
オプトフィルムス研究所 (米国)

■ 役員

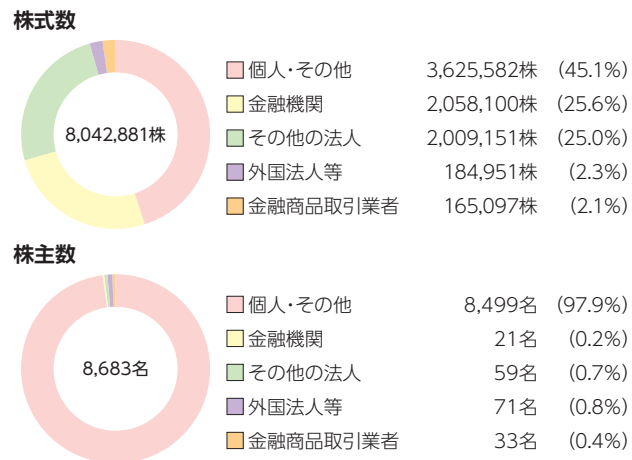
代表取締役会長兼CEO 辻 理
代表取締役社長兼COO 川 邊 史
取締役専務執行役員 山 下 晴 彦
取締役執行役員 宮 本 省 三
佐 藤 清 志
社 外 取 締 役 村 上 正 紀
高 須 秀 視
藤 田 静 雄
柳 本 依 子
常 勤 監 査 役 辻 村 茂
社 外 監 査 役 西 尾 方 宏
木 村 学
常 務 執 行 役 員 外 山 信 一
執 行 役 員 松 出 和 男
ヘンリー・チャン
上 杉 能 章
江 崎 裕 二
奥 野 英 治

■ 株式の状況

発行可能株式総数 14,400,000株
発行済株式の総数 8,042,881株
株主数 8,683名
大株主の状況

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
(一財)サムコ科学技術振興財団	1,000,000	12.4
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	946,000	11.8
辻 理	863,807	10.7
サムコエンジニアリング(株)	850,282	10.6
(株)日本カストディ銀行(信託口)	250,700	3.1
辻 一美	201,465	2.5
野村信託銀行(株)(投信口)	157,200	2.0
(株)三菱UFJ銀行	129,600	1.6
立田 利明	103,099	1.3
三菱UFJキャピタル(株)	102,931	1.3

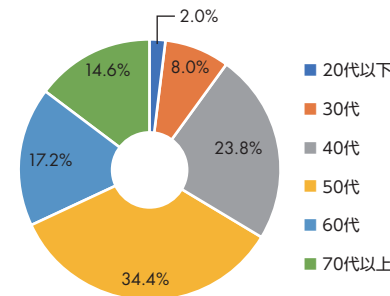
■ 所有者別株式分布状況



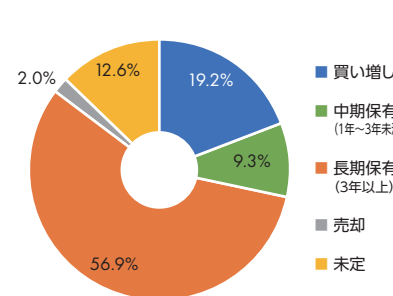
株主アンケート結果のご報告

第45期年次報告書にてご案内した株主アンケートには、多くの株主様からご回答をいただき、厚くお礼を申し上げます。株主様から寄せられたご意見の一部をご報告いたします。いただきました貴重なご意見を今後の事業活動に活かしてまいります。

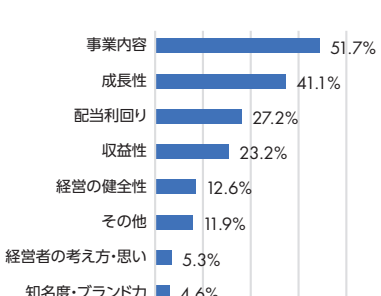
あなたの年齢を
お知らせください。



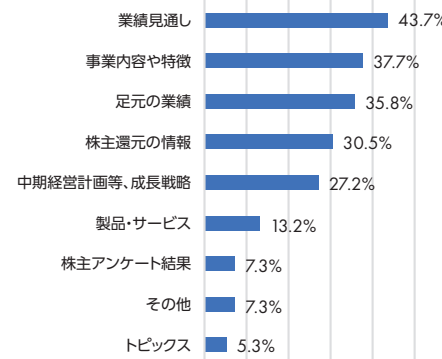
当社の株式に対して
どのような方針ですか？



当社に投資する決め手となった
ポイントは何ですか？ (複数回答可)



今後、年次報告書への記載を希望または
充実してほしい情報は何か？ (複数回答可)



ご意見のご紹介 (一部)

- ▶ プレゼント付きアンケートは今後も継続してほしい。
- ▶ いい人材の確保が会社の成長につながると考えます。人材に対する投資をお願いします。
- ▶ 配当性向の維持向上に期待します。
- ▶ ますます世の中に役立つ会社になっていってください。
- ▶ 安定成長と株主還元を期待します。
- ▶ 決算説明資料などで将来的な市場規模や成長見込みをもっと知りたい。
- ▶ 年次報告書のサムコの事業内容のページが、知らない人にわかりやすく伝えようという姿勢が感じられて良かった。
- ▶ 安心して保有できる会社だと思っています。これからもよろしくお願いします。
- ▶ 京都の会社らしく堅実かつ進歩的に頑張してほしい。